

# 令和2年度 公益財団法人こころすこやか財団 事業報告書

## ～目次～

### ◆公益財団法人 こころすこやか財団の運営

理事会・評議員会の開催

### ◆公益事業1：障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業

#### (1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

- 一般相談支援事業/地域活動支援センターI型事業/指定地域相談支援事業
  - 地域生活支援センター青明舎
- 指定計画相談支援事業
  - 特定相談支援事業所青明舎
- 障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）/青森県障害者就業・生活支援事業
  - 障害者就業・生活支援センターみさわ
- 指定共同生活援助事業
  - こころすこやか財団グループホーム あおば・あおめ・あおぞら・あおみ
  - グループホーム青風荘
- 指定自立訓練（生活訓練）事業/宿泊型自立訓練事業
  - 障害者生活訓練施設青山荘
- 指定障害者就労移行支援事業（未実施）
  - 事業所名未定
- 指定（介護予防）認知症対応型通所介護事業
  - 結び家
- 指定居宅介護支援事業
  - ケアプランセンターまゆすい
- 認知症事例検討会
- 若年性認知症総合支援事業
  - 青森県若年性認知症総合支援センター
- メンタルヘルス事業
- 若年性認知症総合支援事業
- メンタルヘルス事業

#### (2) 障害者・高齢者・認知症者に関する普及啓発事業

- 障害者の作品展示
- 障害者・高齢者・認知症者の福祉に関する研修会、講演会、イベントの開催
- 高齢者・認知症者を対象とした介護予防等に関する講習会、健康教室等の開催
- 法人後見の実施及び成年後見制度利用に関する支援
- 県市町村その他関係機関に対するもの忘れ検診機器の貸し出しと講師派遣
- 関係団体と連携した認知症者の屋外徘徊を想定した模擬訓練の実施

### ◆収益事業1

自動販売機等の設置及び不動産貸付事業及び給食サービス事業

◆理事会・評議員会

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

精神疾患及び精神障害の予防並びに治療に係る研究に関する活動と、障害者や高齢者の社会生活全般に関する支援活動を行うとともに、心の健康を普遍化して偏見をなくした心豊かな社会づくりを目指すため、適正な法人の運営を行った。

【報告項目】

- ①理事会の開催
- ②定時評議員会・臨時評議員会の開催

【報告内容】

①理事会の開催

理事会を3回開催した。

	開催日	議案
第1回理事会	6月9日 (決裁日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成31年度 事業報告について承認を受ける件</li> <li>● 平成31年度 決算報告について承認を受ける件</li> <li>● 任期満了による次期理事、監事、評議員の候補者について承認を受ける件</li> <li>● 令和2年度定時評議委員会の決議の省略(みなし)承認を受ける件</li> <li>● 令和2年度第1回臨時評議員会の決議の省略(みなし)について承認を受ける件 (郵送による書面決裁)</li> </ul>
第2回理事会	6月24日 (決裁日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表理事の選定 (郵送による書面決裁)</li> </ul>
第3回理事会	令和3年 3月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和3年度事業計画(案)について承認を受ける件</li> <li>● 令和3年度収支予算(案)について承認を受ける件</li> <li>● 令和2年度補正予算(案)について承認を受ける件</li> <li>● 令和3年度建物の購入並びに銀行からの借入について承認を受ける件</li> <li>● 令和3年度資金調達及び設備投資の見込みについて承認を受ける件</li> <li>● 令和3年度役員等関連取引について承認を受ける件</li> <li>● 令和2年度第2回臨時評議員会の招集について承認を受ける件</li> </ul>

②定時評議員会・臨時評議員会の開催

定時評議員会の他、臨時評議員会を2回開催した。

	開催日	議案
定時評議員会	6月24日 (決裁日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成31年度事業報告について承認を受ける件</li> <li>● 平成31年度 決算報告について承認を受ける件</li> <li>● 任期満了による理事、監事、評議員の選任について (郵送による書面決裁)</li> </ul>
第1回 臨時評議員会	6月24日 (決裁日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第3期評議員の任期における、評議員会議長の選定</li> <li>● 常勤理事の報酬について (郵送による書面決裁)</li> </ul>
第2回 臨時評議員会	令和3年 3月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和3年度事業計画(案)について承認を受ける件</li> <li>● 令和3年度収支予算(案)について承認を受ける件</li> <li>● 令和2年度補正予算(案)について承認を受ける件</li> <li>● 令和3年度建物の購入並びに銀行からの借入について承認を受ける件</li> <li>● 令和3年度資金調達及び設備投資の見込みについて承認を受ける件</li> </ul>

### ◆地域生活支援センター青明舎

報告担当者 センター長 森 富茂子

【報告概要】

障害者及び家族からの来所相談・電話相談・訪問相談を行い、生活全般・医療・日常生活上の悩み事等へ、必要な情報の提供及び助言、解決を講じ、関わる機関との連絡調整やケース検討を行うことで解決に努めた。医療と連携し、入院・退院時に関わって、障害者の体調維持支援を行った。令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止を最重要課題として取り組んだので、例年通りの活動が制限され、行事、プログラムの実施が計画通りに提供できなかった。そんな中で、障害者が安心して地域生活を送るために、現状で出来る支援を行った。八戸市は、障がい者相談支援事業者連絡会議の運営に携わり、新郷村は、新郷村障害者地域自立支援協議会委員として参加し、委託を受ける事業所としての役割を担った。

【報告項目】

- ①相談支援事業
- ②地域活動支援センターⅠ型事業
- ③指定特定相談支援事業 (サービス利用支援・継続利用支援)
- ④指定一般相談支援事業 (令和1年11月1日より休止)

【報告内容】

①相談支援事業

1) 相談支援事業

訪問、来所相談、電話相談にて以下の相談に応じた。

- ・福祉サービスの利用援助に関する事
- ・社会資源を活用するための支援に関する事
- ・社会生活力を高めるための支援に関する事
- ・権利擁護のために必要な援助に関する事
- ・専門機関の紹介に関する事

令和2年度は新型コロナウイルス感染防止を強化したため、どの支援内容も利用件数が減っているのが特徴である。しかし例年通り、不安な生活を続ける利用者様が、安心して継続した地域生活を送られるよう、必要に応じて、同行支援や関係機関との連絡調整、個別ケア会議を実施した。委託市町村には毎月実績報告書を提出し、状況把握に役立て必要時に連携した。

月	行動報告	
	支援内容	年間延べ利用件数
随時	訪問	263件
	来所相談	1,737件
	同行	34件
	電話相談	1,395件
	関係機関との連絡調整	2,150件
	個別ケア会議	23件
	訪問、来所、同行、電話相談等の対応	

2) 相談支援機能強化事業

相談支援機能の強化を図るため、一般的な相談支援事業に加え、相談支援事業が適切かつ円滑に実施されるよう、関係機関に専門的指導、助言を行った。

新郷村では出張相談会を開き、清明舎まで来所が難しい地域の方の相談を受け付ける機会を設けた。

月	行動報告
随時	必要に応じ、相談支援事業者に対する専門的指導、助言を行う。
7月8日	新郷村障害者出張相談会

3) 地域自立支援協議会（個別ケア会議）への参加

八戸市障がい者相談支援事業者連絡会議は、コロナウィルス感染の中で行う特定相談支援事業の状況をアンケート調査し、課題等を抽出して共有した。

新郷村は、新郷村障害者地域自立支援協議会委員として参加し、第6期新郷村障がい福祉(第2期新郷村障がい児福祉)計画の策定に参加した。

月	行動報告
11月9日	八戸市障がい者相談支援事業者連絡会議事務局会議
	八戸市障がい者相談支援事業者連絡会議 新型コロナウイルス感染防止の為会議の開催はなく、アンケート調査を実施し、コロナ禍で特定相談支援事業所が受けている影響や課題等を抽出し共有した。
12月22日 2月26日	新郷村障害者地域自立支援協議会

4) 入居等支援事業

賃貸契約による一般住居を希望しているが保証人がいない等の理由により入居が困難な方、各市町村が運営する住宅入居者に、必要な調整等の支援を行った。

月	行動報告
随時	関係機関との連絡・調整、地域生活の支援、緊急時の対応・支援 ※登録者：7名 ※年間延べ利用件数：54件

利用件数が前年度比42件減となっている。居住年数が長期になり、安定して居住できる登録者と訪問頻度について相談したこと、緊急事態宣言発令されていた期間は、登録者と相談して訪問を控え、電話で様子確認していたこと等が要因として考えられる。

5) 成年後見制度利用支援事業

成年後見制度の利用が認められる知的障害者又は精神障害者に対し、申立て等について、各市町村と連携を取りながら支援する。

②地域活動支援センター I 型事業

1) プログラム活動の企画・運営

活動室を開放し、社会生活に必要なスキルの維持・向上を図るプログラムを実施。

月	行動報告
4月	年間活動スケジュールの作成
毎月	プログラム活動月間予定表の作成
通年	活動室の開放、メンテナンス

2) 余暇活動（行事、イベント）の企画・運営

生活のしづらさを感じやすい障害者や、引きこもり等、既存の社会資源を利用できない層の相談窓口となり、障害者と地域社会の交流を図った。

行事・イベントについては、緊急事態宣言発令下は自粛し、4月から8月は行事企画を控えた。その後も八戸市内のコロナ感染状況を見て判断をし、実施の際は感染防止を徹底した。

月	行動報告	参加数
4月～8月	行事企画無し	
9月	バーベキュー会	5名
10月	苔玉作り	中止
11月	ハーバリウムとアロマ芳香剤作り	中止
12月	行事企画無し	
1月	指編み体験	中止
2月	ランプシェード作り	1名
3月	ミサンガ作り	中止

3) 障害者サポーター養成、障害に対する理解促進を図る為の普及啓発活動

医療・福祉及び地域の社会的基盤との連携強化のための調整、障害に対する理解促進を図る為の普及啓発活動の事業を実施した。

障害者サポーター養成講座は、八戸学院大学で実施し、24名が参加。障害とその家族・疾病の理解や障害者支援に従事するスタッフの生の声を聴き、障害者理解や福祉従事者を目指す心構え等を学ぶ機会とした。

月	行動報告
4月	年間活動スケジュールの作成、障害者サポーター登録、サポーターデータ管理表作成
2月1日	八戸学院大学でサポーター養成講座実施。 短期大学部介護福祉学科 21名 健康医療学部看護学科 3名 計 参加者 24名

4) ライフサポート

日常生活の支援、日常的な相談への対応、日常生活の質の向上と問題解決のための援助及び情報提供を実施。

月	行動報告
4月	定期訪問者 訪問スケジュール作成
随時	訪問、来所、同行、電話相談等の対応、定期訪問

公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業  
 (1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

通年	入浴、洗濯、インターネット、食事作り、緊急時対応 (オンコール)	
	支援内容	年間延べ利用件数
	入浴	308件
	洗濯	52件
	インターネット	2件
	食事作り	0件
	夜間電話	654件

毎週入浴する利用者様が2名増えたことで、入浴支援回数が増加している。  
 希望者で実施していた食事作りは、新型コロナウイルス感染予防の為実施できなかった。

③指定特定相談支援事業

サービス利用計画の作成、事業者との連絡調整及びサービス等の利用状況の検証を行い、  
 利用者が安心して障害福祉サービスが受けられ、目標に近づくよう支援した。

月	行動報告
随時	相談支援・サービス等利用計画作成・サービス担当者会議実施 モニタリング実施・作成料請求業務

登録者数・実績表

月	新規(利用支援)	継続(継続支援)	新規登録者数	登録解除者数
4月	7名	12名	2名	0名
5月	4名	21名	1名	1名
6月	9名	24名	2名	1名
7月	9名	19名	6名	2名
8月	5名	22名	0名	1名
9月	7名	22名	5名	1名
10月	10名	22名	0名	1名
11月	3名	29名	1名	2名
12月	6名	8名	1名	3名
1月	13名	8名	2名	1名
2月	5名	29名	1名	1名
3月	5名	23名	0名	2名
合計	83名	239名	21名	16名

公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らさせる地域づくり事業  
 (1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

④指定一般相談支援事業

365日・24時間で支援する体制を維持することが難しくなったことが理由で、令和元年11月1日より事業休止としている。

1) 地域移行支援

月	行動報告
随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住居確保その他の地域生活に移行するための支援に関する相談</li> <li>・地域生活への移行のための外出時の同行</li> <li>・体験宿泊</li> <li>・地域移行支援計画の作成</li> </ul>

2) 地域定着支援

居宅において单身等の状況において生活する障害者等に対して、当該障害者等との常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等において相談に応じる。

地域生活支援センター青明舎 市町村別登録者数

令和3年度3月31日現在

	身体		知的		精神		発達 他		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
八戸市	1	0	4	4	31	36	0	3	36	43
	1		8		67		3		79	
おいらせ町	0	0	0	0	3	3	0	0	3	3
	0		0		6		0		6	
南部町	0	0	0	0	6	1	0	0	6	1
	0		0		7		0		7	
五戸町	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0
	0		0		2		0		2	
階上町	1	0	0	0	2	0	0	0	3	0
	1		0		2		0		3	
田子町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0		0		0		0		0	
新郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0		0		0		0		0	
合計	2	0	4	4	44	40	0	3	50	47
	2		8		84		3		97	



## ◆障害者就業・生活支援センターみさわ

報告担当者 センター長 坂下優子

### 【報告概要】

就職を希望する障害者、職場不適合により離職した障害者や離職のおそれがある在職中の障害者に対し、障害者就業・生活支援センターにおいて、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行うことにより、障害者の職業生活における自立を図ることを目的とした。また、生活支援担当職員が支援対象者の家庭等や職場を訪問し、生活上の相談等に応じ、就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活に必要な支援を行うことにより、障害者の就労継続を図ることを目的として運営した。令和2年度はコロナウイルス感染拡大を受け、通常の業務実施が難しく実績値や会議・研修の参加等に大きな影響が出ている。実施方法を様々に工夫し業務を行った。

### 【報告項目】

- ① 雇用安定等事業
- ② 生活支援等事業

### 【報告内容】

#### ① 雇用安定事業

##### 1) 障害者の就業支援

就職に向けた準備支援（職業準備訓練、職場実習のあっせん）、求職活動の支援、職場定着支援、事業所に対する障害者の障害特性を踏まえた雇用管理に関する助言、関係機関との連携、調整を行った。

月	行動報告
通年	職場実習場所の開拓、確保、職場実習の実施、事業所への説明、利用者への説明、短期職場実習制度の利用、求職活動支援、職場定着支援

##### 2) 障害者の就業支援からみる生活支援 ※②生活支援等事業と連動

生活習慣の形成、健康管理、金銭管理等の日常生活の自己管理に関する助言、地域生活、生活設計に関する助言、関係機関との連携、調整を行った。

月	行動報告
通年	家庭・職場・実習先への訪問巡回、職場定着支援、利用登録の意志確認、在職者交流会

##### 3) 目標件数の達成状況

目標件数設定項目	令和2年度 目標値	令和2年度 達成値	達成率
支援対象障害者数 (人)	310人	333人	107%
職業準備訓練及び職場実習のあっせん件数 (件)	22件	18件	81%
就職件数 (件)	30件	28件	93%

\* 支援対象障害者数は年度末に登録希望確認を実施し、15人の取消希望あり。次年度の開始時は318人でスタートすることとなる。

4) 各関係機関との連携、情報交換、報告

事業が円滑かつ効果的に行われるように関係機関と連絡を密にし、連携体制を構築した。

\*コロナウイルスの影響で例年実施している各行事・会議等が多数中止。

月	行動報告
4月24日	第1回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加 (オンライン開催)
5月25日	第1回障害者就業・生活支援センターみさわ事業連絡会議 (郵送にて実績報告実施)
5月	第1回在職者交流会中止をとり、在職者に近況に関するアンケート実施
5月	企業に対するアンケート実施
6月18日	第1回3ハローワーク定例会開催
7月17日	三沢市障害福祉計画及び三沢市障害児福祉計画策定委員会参加
7月27日～	四者面談(七戸養護学校)参加
7月29日～	四者面談(青森第二高等養護学校)参加
8月17日	四者面談(八戸高等支援学校)参加
8月20日	障害者雇用支援連絡協議会参加
8月21日	第2回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加 (オンライン開催)
8月26日	若年性認知症自立支援ネットワーク会議参加
8月23日	第2回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
9月5日	第2回在職者交流会実施
9月14～25日	ステップアップ講座開催
9月14日	ピアサポート活動(ステップアップ講座と共催)
11月12～13日	第2回3ハローワーク定例会開催
11月21日	第3回在職者交流会開催
11月21日	第2回ピアサポート活動(第3回在職者交流会開催と共催)
11月25日	三沢市障害福祉計画及び三沢市障害児福祉計画策定委員会参加
11月	企業座談会中止に伴い、企業にアンケート実施
12月10日	第2回障害者就業・生活支援センターみさわ事業連絡会議実施
12月11日	第3回障害者就業・生活支援センター連絡協議会、都道府県経験交流会議参加(オンライン開催)
12月13日	第3回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
12月15日	青森藤チャレンジド事業連絡会議参加(オンライン開催)
2月19日	第4回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
3月18日	上北地区農福連携会議参加
2月	第4回在職者交流会中止のため、1年間の振り返り用紙郵送
3月随時	移行支援会議(七戸養護学校、青森第二高等養護学校、八戸高等支援学校、青森第二養護学校)参加
適宜	特別支援学校生徒、企業実習の巡回協力実施 ハローワークとのチーム支援会議実施 地域自立支援協議会(三沢市・十和田市)参加

5) 啓発活動

月	行動報告
2月	障害者雇用モデル事例集作成（青森県労政・能力開発課共催）

6) スタッフ教育・人材育成

\*コロナウイルスの影響で多くの研修が中止。オンライン開催の以下の研修、会議に参加。

月	行動報告
8月24～25日	就労支援フォーラムNIPPON参加（オンライン開催）
12月4日	ブロック別経験交流会議参加（オンライン開催）
12月5日	全国就業支援ネットワークサミット参加（オンライン開催）
2月12日	障害者就業・生活支援事業をより深く考える全国フォーラム（オンライン開催）

② 生活支援等事業

1) 日常生活の自己管理に関する指導・助言

月	行動報告
随時	生活習慣の形成や日常生活の自己管理のための助言 健康管理や金銭管理等に関する指導・助言 保健医療機関、生活支援サービス利用の支援を実施

2) 地域生活に関する指導・助言

月	行動報告
随時	住居の確保や年金などの申請に関して助言 活用できる福祉サービスの利用調整を実施 就業後や休日における余暇活動について助言

3) 生活設計に関する指導・助言

月	行動報告
随時	長期的な視野での生活設計等について指導・助言 本人の自己選択・自己決定に関する助言

4) 家族、知人との関係の調整や緊急時の対応等の支援を行った。

5) その他就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活に必要な支援を行った。特にコロナウイルス感染拡大により、行動が制限されている方、仕事や就職活動に影響が出ている方に対し、アンケート結果をもとに電話での様子伺いを重点的に実施した。

## ◆こころすこやか財団グループホーム

報告担当者 管理者 森 富茂子

### 【報告概要】

障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業「外部サービス利用型共同生活援助事業」の適切な運営と、利用者が地域において共同して自立した日常生活及び社会生活を営む事ができるよう援助し、障害者の福祉の増進を図った。

今年度は新型コロナウイルスから入居利用者様を守ることを最優先として取り組んだため、計画通りの活動が難しかった。

### 【報告項目】

- ① こころすこやか財団グループホームの運営  
 「あおぞら（定員：女性7名）」「あおば（定員：男性5名）」「あおめ（定員：男性10名）」  
 「あおみ（定員：男性7名）」
  - 1) 個別支援計画の作成及び提供
  - 2) 関係機関との情報共有及び連携
  - 3) 生活の質の向上及び健康の維持
  - 4) 訓練等給付費請求・受領業務
  - 5) 生活費等の出納管理
  - 6) 訓練等給付の支給決定内容の管理
  - 7) 外部サービス利用時の連絡調整
  - 8) 年間利用者状況
  - 9) あおば閉鎖について
  - 10) 職員のサービスの質の向上を目指した事業所内研修の実施

### 【報告内容】

- ①こころすこやか財団グループホームの運営
  - 1) 個別支援計画の作成及び提供  
 利用者の意向、適正、障害の特性を踏まえた個別支援計画を作成し提供するとともに、断続的な評価を実施し適切かつ効果的な援助を提供した。

実施月日	実施内容
適宜	アセスメント
適宜	個別支援計画の評価・個別支援計画の作成検討会議
適宜	個別支援計画の作成と同意・提供

- 2) 関係機関との情報共有及び連携  
 利用者の意思及び人格を尊重し利用者の立場に立ったサービスの提供と、医療、関係機関、家族との連携、調整を行なった。

実施月日	実施内容
随時	通院同行、関係機関同行 家族と連絡、情報交換 サービス担当者会議・ケア会議の実施、参加

- 3) 生活の質の向上及び健康の維持  
 生活の質の向上と健康維持の為の援助を提供した。  
 利用者様全員に市町村が実施している健康診断を受けてもらい、個人の健康状態の把握に努めた。またかかりつけ医に相談しながら、必要な方に再検査実施している。

実施月日	実施内容
R2年9月27日 R3年2月21日	日中想定通報・避難訓練 夜間想定通報・避難訓練
随時	服薬管理・健康管理・生活相談・建物管理・設備管理・ 環境整備・大掃除支援等
R2年8月7日 R2年8月20日 R2年9月4日 R2年9月17日	健康診断の実施及びその同行、実施医療機関と連絡調整、 かかりつけ医への報告、再検査実施 ①健診実施・同行（2名） ②健診実施・同行（4名） ③健診実施・同行（5名） ④健診実施・同行（5名）
R2年4月6日 R2年4月20日 R3年3月24日	保護者に向けて日常状況等を発信 ・新型コロナウイルス感染防止に関するお願い ・5月大型連休帰省時の新型コロナウイルス感染防止の お願い ・グループホーム便り
R3年2月28日 R3年3月7日	行事 ①デリバリー利用（3名） ②デリバリー利用（5名）

- 4) 訓練等給付費請求・受領業務  
サービス費等請求業務及びサービス費等代理受領業務

実施月日	行動計画
毎月	利用料金の徴収 国保連の請求及び代理受領 会計に関する諸記録の整備

- 5) 生活費等の出納管理  
家賃、水光熱費、その他日常に要する費用に関する金銭管理を行った。

実施月日	実施内容
毎月2日	利用料金の徴収・返金 会計に関する諸記録の整備

- 6) 訓練等給付の支給決定内容の管理

実施月日	行動計画
随時	訓練給付サービス支給更新手続き 利用者負担上限額更新手続き

- 7) 外部サービス利用時の連絡調整

実施月日	行動計画
随時	個別支援計画に基づいた居宅介護支援事業所への依 頼及び連絡調整 関係機関への情報提供等

8) 年間利用者状況

(利用者数は毎月末現在)

単位：人

月	あおぞら 定員7名(女)			あおば 定員5名(男)			あおめ 5/1~10/31 定員7名(男) 11/1~ 定員10名(男) に変更			あおみ 定員7名(男)		
	入	退	現在数	入	退	現在数	入	退	現在数	入	退	現在数
R2.4月	0	0	6	0	0	3	0	0	5	0	0	6
5月	0	0	6	0	0	3	0	0	5	0	0	6
6月	0	0	6	0	0	3	0	0	5	0	0	6
7月	0	2	4	0	0	3	1	0	6	0	0	6
8月	0	0	4	0	0	3	0	0	6	1	0	7
9月	0	0	4	0	0	3	0	0	6	0	0	7
10月	0	1	3	0	1	2	0	0	6	0	0	7
11月	0	0	3	0	0	2	0	0	6	0	0	7
12月	0	0	3	0	0	2	0	1	5	0	0	7
R3.1月	0	0	3	0	1	1	0	0	5	0	0	7
2月	0	0	3	0	0	1	1	0	6	0	0	7
3月	0	0	3	0	0	1	0	0	6	0	0	7
延利用者数計	0	3	48	0	2	27	2	1	67	1	0	80

9) あおば閉鎖について

あおば(定員：男性5名)の老朽化に伴い、令和3年3月31日閉鎖し、利用者は全員あおめに移動している。

10) 職員のサービスの質の向上を目指した事業所内研修の実施

月	行動計画
3月	障害者の経済支援について

### ◆グループホーム青風荘

報告担当者 施設長 高橋昭徳

【報告概要】

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業「介護サービス包括型共同生活援助事業」の適切な運営と、利用者が地域において共同で自立した日常生活または社会生活を営む事ができるよう日常生活上において必要となる援助を行い、生活能力の低下防止と生活の質の向上・自立の促進を図った。

【報告項目】

- ① グループホーム青風荘の運営（定員 20 名）
  - 1) 日常生活上の支援全般、相談、連絡調整
  - 2) 個別支援計画の作成、ケアマネジメントの実施
  - 3) 関係機関との情報共有及び連携
  - 4) 健康管理
  - 5) 非常災害対策
  - 6) 利用者負担金及び生活費等の出納管理
  - 7) 介護給付費請求・受領業務
  - 8) 訓練等給付費の支給決定内容の管理
  - 9) 余暇活動支援
  - 10) 年間利用者状況

【報告内容】

- ① グループホーム青風荘の運営
  - 1) 日常生活上の支援全般、相談、連絡調整
    - 1日を通して日常生活の質の向上・維持の為、利用者の意向を踏まえ、日常生活に必要なサービス（家事・相談・助言等）を24時間体制で提供した。

実施月日	実施内容
通年	夜間における排泄の介助や見守り 入浴・食事等の支援、洗濯及び掃除・買物等の身の回りや家事全般に関する相談や援助 公共機関利用の支援
随時	支援会議の実施

日中活動の場等関係機関との連絡・調整

実施月日	実施内容
毎週・月～金	通所リハビリテーション青陽館との情報共有、及びプログラム参加の支援
随時	ケア会議への参加

2) 個別支援計画の作成・ケアマネジメントの実施  
 利用者・家族の現状やニーズなどを把握するためにアセスメント及びモニタリングを実施し、個別支援計画を作成し、それに基づいて適切なサービスを提供した。

実施月日	実施内容
随時（6ヶ月以内）	個別支援計画書の作成及び更新 個別支援計画作成検討会議

3) 関係機関との情報共有及び連携

実施月日	実施内容
適宜	外来受診時における利用者の身体・精神状況の情報提供及び同行支援 家族との連絡・面談及び情報交換 ケア会議への参加

4) 健康管理

定期検診の実施

実施月日	実施内容
朝・夕（毎日）	対象者のバイタル測定
毎月	糖尿病患者対象（1名）～血糖検査
R3年2月	頭部CT検査（19名）
R2年10、11月	胸部X-P（一般者19名）
R2年8、9月	定期採血（一般セット19名）
R3年3月	定期採血（一般セット13名）
R2年10月	インフルエンザ予防接種（19名）
R3年2、3月	心電図（19名）

5) 非常災害対策

実施月日	実施内容
R2年6月	避難誘導訓練（夜間想定）
R2年11月	避難誘導訓練（夜間想定）
R3年2月	自主避難誘導訓練（夜間想定）
毎月	消防用設備の自主点検
年度末	消防用設備等点検結果報告書・点検記録表・自主点検表の提出

6) 利用者負担金及び生活費等の金銭管理

利用者負担額等の請求・利用料等の受領業務

実施月日	実施内容
毎月	利用料の徴収・返金 会計に関する諸記録の整備

7) 介護給付費請求・受領業務

サービス費等請求業務及びサービス費等法定代理受領業務

実施月日	実施内容
毎月	国保連への請求・受領 会計に関する諸記録の整備



8) 訓練等給付費の支給決定内容の管理

月	行動計画
随時	訓練給付サービス支給量更新手続き 利用者負担上限額更新手続き

9) 余暇活動支援

レクリエーションの実施

利用者が高齢となってきた事、コロナウイルス感染対策のため外出を控え、荘内で季節に合わせた行事を中心に実施。

月	行動計画
R2年4月	花見会
5月	青風荘祭り&誕生会
7月	ランチ外出・出前ランチ
8月	納涼会
9月	青風荘秋の運動会
10月	誕生会
11月	芸術の秋
12月	クリスマス忘年会
R3年1月	新年会
3月	ひなまつり・誕生会

10) 年間利用者状況（利用者数は毎月末日現在）

月	各月在所人数			入 所			退 所		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
R2.4月	10	8	18	0	0	0	0	0	0
5月	10	8	18	0	0	0	0	0	0
6月	10	8	18	0	0	0	0	0	0
7月	10	10	20	0	2	2	0	0	0
8月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
9月	10	9	19	0	0	0	0	1	1
10月	10	9	19	0	0	0	0	0	0
11月	10	10	20	0	1	1	0	0	0
12月	9	10	19	0	0	0	1	0	1
R3.1月	9	10	19	0	0	0	0	0	0
2月	10	10	20	1	0	1	0	0	0
3月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
計	118	112	230	1	3	4	1	2	2
前年度	118	94	212						

## ◆障害者生活訓練施設 青山荘

報告担当者 管理者 高橋 昭徳

### 【報告概要】

障害者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、生活能力の維持・向上を目的に、食事や日常生活全般に関わる必要な生活訓練を行った。また、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供、地域連携に努めた。

### 【報告項目】

#### ①障害者生活訓練施設青山荘の運営

(通所型生活訓練 定員 20 名 宿泊型生活訓練 定員 20 名)

- 1) 個別支援計画の作成、モニタリングの実施
- 2) 社会生活力を高めるためのプログラムを実施
- 3) 運営に関する会議
- 4) 関係機関との情報共有、及び連携
- 5) 生活の質の向上・維持
- 6) 生活費等の金銭管理
- 7) 訓練等給付費の請求及び受領業務
- 8) 利用者の確保
- 9) 年間利用者状況

### 【報告内容】

#### ① 障害者生活訓練施設 青山荘の運営

##### 1) 個別支援計画の作成、モニタリングの実施

利用者の置かれている環境及び日常生活全般の状況等を通じて、利用者及びその家族が希望する生活や課題を明らかにし、適切な支援内容の把握に基づき達成目標を設定し、サービス担当者会議を経て個別支援計画を作成した。個別支援計画書作成後、3ヶ月に1回以上定期的に個別支援計画実施状況の把握を行い必要に応じて個別支援計画の変更を行った。

実施月日	実施内容
随時	アセスメントの実施、個別支援計画の作成 モニタリングの実施（3ヶ月に1回以上）、個別支援計画の見直し

##### 2) 社会生活力を高めるためのプログラムを実施

- |             |           |
|-------------|-----------|
| ◆ 健康管理      | ◆ 食生活     |
| ◆ セルフケア（保清） | ◆ 生活リズム   |
| ◆ 安全・危機管理   | ◆ 金銭管理    |
| ◆ すまい       | ◆ 掃除・整理   |
| ◆ 買い物       | ◆ 服装      |
| ◆ コミュニケーション | ◆ 外出・余暇支援 |
| ◆ 運動        | ◆ 病気の理解   |

実施月日	実施内容
毎月20日	翌月のプログラム予定表を作成
毎日	各利用者に合わせて集団・個別プログラムを実施

R2.6、8、11、12月 R3.1月	例年は公共交通機関を利用し外出プログラムを実施していたが、 コロナウイルス感染対策のため、特別プログラムを定期的に荘内 で実施。初詣のみ少数人数でタクシーを利用し実施。 BBQ・納涼会・特別調理・クリスマス会・初詣
------------------------	--

3) 運営に関する会議

利用者に関する情報の共有、連絡事項、支援内容の見直しなどについて会議内で検討した。

実施月日	実施内容
毎月1回	利用者に関する情報・連絡事項・支援内容の見直し等について所 内会議を行った

4) 関係機関との情報共有、及び連携

利用者の意志及び人格を尊重し利用者の立場に立ったサービスの提供、及び医療、関係機関、  
家族との密接な連携を図った。

実施月日	実施内容
適宜	必要に応じて関係機関・家族への情報提供（家族交流会）、ケア会 議の招集、ケア会議への参加

5) 生活の質の向上・維持

実施月日	実施内容
毎月	苦情処理委員会の開催
R2.8月・R3.3月	避難訓練（消防計画・報告書の提出）
適宜	消防用設備の自主点検実施（専門業者に委託） 令和2年度分の消防用設備等点検結果報告書・点検記録表・自主 点検票をR3年4月に消防署へ提出）

6) 生活費等の金銭管理

利用者・家族の希望に応じて生活費等の金銭管理等を行った。

実施月日	実施内容
適宜	新規利用者へ金銭管理方法を確認 事業所で通帳・印鑑・現金等を預かる際は、預かり証にサインを いただいてから預かった

7) 訓練等給付費の請求及び受領業務

毎月サービス利用費等を国保連へ請求する。また国保連よりサービス利用費の代理受領業務  
を行った。

実施月日	実施内容
毎月	サービス利用費等を国保連へ請求、代理受領書の発行

8) 利用者の確保

利用率をキープするために病院・関係機関への連絡調整を行った。

実施月日	実施内容
適宜	青南病院や相談支援事業所などの関係機関へ利用希望者や生活訓 練が該当する利用者がないか適宜連絡調整を行った。

9) 年間利用者状況

I. 「宿泊型」(利用者数は毎月末現在)

単位：人

月	各月訓練利用者数 (登録者数)			新規訓練利用者数			訓練修了者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
R2.4月	11	4	15	0	0	0	0	0	0
5月	10	3	13	0	0	0	1	1	2
6月	9	3	12	0	0	0	1	0	1
7月	10	4	14	1	1	2	0	0	0
8月	10	3	13	0	0	0	0	1	1
9月	10	3	13	1	0	1	1	0	1
10月	10	4	14	0	1	1	0	0	0
11月	8	3	11	0	0	0	2	1	3
12月	9	4	13	1	1	2	0	0	0
R3.1月	9	4	13	1	0	1	1	0	1
2月	9	5	14	1	1	2	1	0	1
3月	9	4	13	0	0	0	0	1	1
計	114	44	158	5	4	9	7	4	11
年間平均利用数	今年度		13.1						
	前年度		13.7						

II. 「通所型」(利用者数は毎月末現在)

単位：人

月	各月訓練利用者数 (登録者数)			新規訓練利用者			訓練終了者		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
R2.4月	9	4	13	0	0	0	0	0	0
5月	8	2	10	0	0	0	1	2	3
6月	7	2	9	0	0	0	1	0	1
7月	8	3	11	1	1	2	0	0	0
8月	8	3	11	0	0	0	0	0	0
9月	8	3	11	1	0	1	1	0	1
10月	8	4	12	0	1	1	0	0	0
11月	6	3	9	0	0	0	2	1	3
12月	7	4	11	1	1	2	0	0	0
R3.1月	7	4	11	1	0	1	1	0	1
2月	7	5	12	1	1	2	1	0	1
3月	7	4	11	0	0	0	0	1	1
計	90	41	131	5	4	9	7	4	11
年間平均利用数	今年度		10.9						
	前年度		13.1						

## ◆障害者就労移行支援事業

報告担当者 代表理事 松倉典子

### 【報告概要】

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業「就労移行支援事業」において、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、生活能力の維持・向上、また社会経済活動への参加のための就労訓練を行い、社会参加を促進すると共に障害者の自立した生活を助長するため障害者就労移行支援事業所の立ち上げに関しての検討を行う予定としていたが、未検討となった。

### 【報告項目】

- ① 障害者就労移行支援事業所の立ち上げ準備

### 【報告内容】

- ① 障害者就労移行支援事業所の立ち上げ準備  
需要が現状では見込まれないため、事業立ち上げは未検討となった。

◆指定（介護予防）認知症対応型通所介護事業 結び家

報告担当者 管理者 金澤一美

【報告概要】

認知症の利用者を対象にした専門的なケアを提供し、利用者が可能な限り居宅で自立した日常生活を送ることができるよう、食事や入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練や口腔機能向上サービスなどを日帰りで提供した。また自宅にこもりがちな利用者の社会的孤立感の解消や心身機能の維持回復だけでなく、家族の介護の負担軽減などを目的とし事業に取り組んだ。更に若年性認知症者の支援にも力を入れ、若年性認知症サポートセンターゆえみとして、若年性認知症者及びその家族を対象としたサロン活動を実施し、当事者の仲間作りや悩み相談、そして家族の不安や悩み等の解消及び情報交換による心理的負担を軽減することを目的として事業を行った。

【報告項目】

- ① （介護予防）認知症対応型通所介護事業の運営
- ② 若年性認知症サポートセンターゆえみ事業
- ③ スタッフ教育

【報告内容】

- ①（介護予防）認知症対応型通所介護事業の運営

(1) 通所支援事業

1) 日常生活とのつながりを意識した認知症者の自立につながるサービスを提供した。  
 サービス提供日：月曜日～金曜日（年末年始は除く）1日定員：12名

月	利用者延人数	平均利用者数 (1日)	利用率 (月)	稼働率	登録者率	登録者数
R2年4月	170	7.7	78.03%	91.56%	85.23%	24名
5月	161	7.7	63.89%	81.31%	78.75%	24名
6月	156	7.8	65.00%	90.70%	71.67%	25名
7月	182	7.9	65.94%	90.55%	72.83%	27名
8月	163	7.8	64.68%	85.79%	75.40%	26名
9月	166	7.5	62.88%	83.42%	75.38%	24名
10月	180	8.2	68.18%	83.42%	80.42%	26名
11月	142	6.8	56.35%	83.53%	67.46%	22名
12月	176	7.7	63.77%	91.67%	69.57%	24名
R3年1月	148	7.4	61.67%	85.06%	72.50%	23名
2月	135	6.8	56.25%	91.22%	61.67%	20名
3月	146	6.3	52.90%	86.90%	60.87%	20名
	延利用者合計	平均利用者数 (1日)	利用率 月平均	稼働率 月平均	登録者率 月平均	
	1925	7.46	63.29%	87.09%	72.63%	

H30年度比 2248名 H31・R1年度比 2377名 R2年度比 1925名 ▽  
 452名（令和3年3月31日現在）新規利用者 11名 終結者 13名

＊実績に対する分析内容

今年度は、4・7・9・10・1月に新規利用あり。利用目的は、家族の介護負担の軽減・清潔保持、活動性を持たせたい、認知症の進行に伴い社会性を保持する事が困難になったためとなっている。介護度は要介護1～3内訳として当財団居宅から3件、他事業所から8件となっている。新規利用者11名。

新規利用に関しては、11名中8名の方が新規介護認定を受け、初めて介護サービスを利用されている。介護支援専門員からの相談にて利用、家族希望にて利用、認知症専門医の薦めにて利用。

終結者は、12名で身体状況の変化により、他サービス移行、在宅での生活が困難の為、他施設入所、治療目的の入院の為となっている。

上半期は、新型コロナウイルス感染症拡大予防の為、短期入所利用、体調不良による休みによりキャンセル等もあり利用率平均66.74%と下降傾向となっている。下半期に関しても新型コロナウイルス感染症拡大予防の為、体調不良、短期利用キャンセルと新型コロナウイルス感染症の影響は続いており、下半期の利用率が64.51%と下降。年平均63.29%と目標値80%に達していない。前年度比14.09%の減となっている。利用相談は、結び家の特性を理解している現在利用されている利用者担当の介護支援専門員の件数もあったが、近隣の居宅へ空き情報提供し利用に繋がった方もいる。次年度も営業を継続し、安定した稼働率を目指していく。現在利用されている利用者の定期曜日以外での受け入れも検討していく。

【新型コロナウイルス感染症拡大予防の為キャンセル】

月 区分	4月	5月	8月	11月	12月	1月
要介護1	1名 (4日)	2名 (1日) (4日)				
要介護2				1名 (8日)	1名 (1日)	1名 (1日)
要介護3	1名 (5日)	1名 (4日)	1名 (1日)	1名 (8日)	2名 (1日) (1日)	3名 (1日) (2日) (2日)
合計人数	2名	3名	1名	2名	3名	4名
日数	9日	9日	1日	16日	3日	6日

※同居家族が他県へ移動、帰省による為キャンセル。サービス付き高齢者住宅に入居されている方もおり、施設内の感染予防、他通所施設での感染の為キャンセル。

【介護区分別】

区分 月	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	月平均
R2年 4月			6	12	6			24	2
5月			6	12	6			24	2
6月			6	12	7			25	2
7月	1		8	11	7			27	1.9
8月	1		8	10	7			26	1.9
9月	1		6	10	7			24	1.9
10月	1		8	10	7			26	1.9
11月	1		7	9	5			22	1.84
12月	1		7	10	6			24	1.9
R3年 1月			7	10	6			23	2
2月			7	9	4			20	1.9
3月			7	9	4			20	1.9

年間平均介護度 1.9 (新規利用者 11名 終結者 12名)

2) 在宅生活を支えるための地域・家族交流

例年行っている交流

- ◆八戸シニアはつらつポイント事業でのボランティア受入継続
- ◆グッジョブ受け入れ
- ◆上長地区敬老会 新年会

※新型コロナウイルス感染症拡大予防の為、全て中止となっている。

3) 安定した収入の確保 (営業関係)

広報活動：医療機関、居宅介護支援事業所等への広報活動を実施した。利用相談は、結び家の特性を理解している現在利用中の担当介護支援専門員の相談が多かった。

月	実施内容
4月～3月	現在利用中の居宅介護支援事業所へ営業(同居宅からの相談多い為)実績時に空き情報案内・ホームページにて空き情報案内
5月 7月	市内居宅へ営業
その他	外部研修・サービス会議時の案内・営業・電話



4) 運営推進会議

八戸市より、新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、運営推進会議については、事業所等の開催場所に参集せずに、運営推進委員へ報告内容を書面で送付し、意見を求めることで、運営推進会議を開催したと認めるという通知がありました。その為、新型コロナウイルス感染拡大防止のため集会形式での開催は中止し書面による報告とした。

月	実施内容
6/24 (水)	①H31・R1 年度事業報告 (資料配布) ②利用アンケート結果報告 (資料配布) ※委員6名 介護保険課、高齢支援センターへ資料、報告書配布 ※各委員の方へ資料を配布し意見を求めている。
12/9 (水)	①R2 年度上半期事業報告 ※委員6名 介護保険課、高齢支援センターへ資料、報告書配布 ※各委員の方へ資料を配布し意見を求めている。

5) 避難訓練の実施

日中火災想定での避難訓練 2 回実施

月	実施内容	参加人数
6/30 (火)	日中火災想定での避難訓練	利用者 6 名 職員 8 名
9/24 (木)	日中火災想定での避難訓練	利用者 7 名 職員 8 名

(2) 相談支援事業

認知症高齢者だけではなく、若年性認知症及び認知症を発症した障害者の相談にも積極的に応じ、適したサービスを利用できるよう情報の提供を行った。他事業所と連携を図り、認知症者本人の豊かな地域生活につながるよう支援を実施した。

月	実施内容		
R2年4月	利用相談 3 件	家族相談 0 件	利用中止相談 0 件
5月	利用相談 0 件	家族相談 0 件	利用中止相談 0 件
6月	利用相談 1 件	家族相談 0 件	利用中止相談 0 件
7月	利用相談 2 件	家族相談 0 件	利用中止相談 0 件
8月	利用相談 5 件	家族相談 0 件	利用中止相談 0 件
9月	利用相談 4 件	家族相談 0 件	利用中止相談 0 件
10月	利用相談 3 件	家族相談 0 件	利用中止相談 0 件
11月	利用相談 0 件	家族相談 0 件	利用中止相談 0 件
12月	利用相談 1 件	家族相談 0 件	利用中止相談 0 件
R3年1月	利用相談 1 件	家族相談 0 件	利用中止相談 0 件
2月	利用相談 1 件	家族相談 0 件	利用中止相談 0 件
3月	利用相談 1 件	家族相談 0 件	利用中止相談 0 件
合計	利用相談 22 件		

\*介護支援専門員からの相談件数は多いが、相談だけで他サービスや他施設入所等で実際に利用に繋がった方は 11 名。

② 若年性認知症サポートセンターゆえみ事業

1) 若年性認知症者及びその家族を対象としてサロン活動(すこやかサロン結喜)を月1回実施し、本人や家族の交流の場として、仲間作りや家族の精神的負担の軽減を図った。冬期間は参加されていなかったが、遠方の青森市から若年認知症者と家族が参加されている。家族間でのアドバイス、介護経験等を通じての助言や提案等もあり、学ぶことも多く、家族の方からは毎回のサロンが楽しいとの話しが聞かれていた。  
 新型コロナウイルス感染症拡大予防の為、4月～6・11月は開催中止とした。  
 7月から、開催時間の短縮、感染対策を行い再開している。

月	実施内容	参加人数		
		家族	当事者	合計
4月11日 (第2土曜日)	新型コロナウイルス感染症拡大予防の為中止			
5月9日 (第2土曜日)	新型コロナウイルス感染症拡大予防の為中止			
6月13日 (第2土曜日)	新型コロナウイルス感染症拡大予防の為中止			
7月11日 (第2土曜日)	当事者:音楽・テレビ鑑賞/談話 家族/談話	1名	1名	2名
8月8日 (第2土曜日)	当事者:音楽・テレビ鑑賞/談話 家族/談話	2名	2名	4名
9月12日 (第2土曜日)	当事者:音楽・テレビ鑑賞/談話 家族/談話	2名	2名	4名
10月10日 (第2土曜日)	当事者:音楽・テレビ鑑賞/談話 家族/談話	3名	3名	6名
11月14日 (第2土曜日)	新型コロナウイルス感染症拡大予防の為中止			
12月12日 (第2土曜日)	当事者:音楽・テレビ鑑賞/談話 家族/談話	1名	2名	3名
1月9日 (第2土曜日)	家族/談話		1名	1名
2月13日 (第2土曜日)	当事者:音楽・テレビ鑑賞/談話 家族/談話	1名	2名	3名
3月13日 (第2土曜日)	道の駅なんごう昼食/九戸公民館オリンピック 聖火展見学/道の駅おりつめ	1名	2名	3名

③スタッフ教育

スタッフの質の向上を図る事で、サービスの質の向上につなげる。伝達能力を身につけられるよう

各自担当制にして勉強会を開催した。新型コロナウイルス感染症予防の為にオンライン研修参加含む。

月	形態	実施内容
R2 4/22	勉強会	記録について
7/2	外部研修	認知症介護基礎研修(森)
7/8~9	外部研修	新任福祉職員キャリアパス対応生涯初任研修(森)
7/11	勉強会	認知症者の支援と基本的姿勢、認知症の基礎知識
7/13~17	外部研修	認知症介護実践者研修(伊藤)
9/14	勉強会	感染症・食中毒について
9/14	勉強会	緊急時、防災について
10/5	勉強会	事故発生または再発防止について
10/5	外部研修	認知症介護実践者報告研修(伊藤)
10/18	外部研修	シナプソロジー指導法について(豊間根)
11/23	内部研修	感染症について
11/30	勉強会	省エネ対策、コスト意識について
12/12	勉強会	介護予防及要介護進行予防について
R3 1/9	勉強会	認知症について
1/9	勉強会	介護保険サービス従事者向け感染対策について
1/9	勉強会	介護保険サービス従事者管理者向け感染対策について(金澤)
1/22	内部研修	接遇、倫理、法令遵守、苦情への対応と虐待・拘束について
2/18~19	外部研修	認知症対応型サービス事業管理者研修(豊間根)
2/22	勉強会	生活習慣病、従事者ストレスマネジメントについて
3/13	勉強会	認知症について

◆ケアプランセンター まゆすい

報告担当者 堀 慕子

【事業報告】

介護を必要とする方が、居宅で適切にサービスを利用できるように介護支援専門員が心身の状況や生活環境、本人及び家族の希望等に沿ってケアプランを作成し様々な介護サービス事業所との連絡・調整を行い、適切なサービスが提供されるよう計画することで、居宅で自立した生活が送れるよう支援することを目的として事業を行った。

【報告項目】

- ①居宅介護支援事業所の運営
- ②サービスマネジメントシステムの確立
- ③介護支援専門員としての人材育成

【報告内容】

- ①居宅介護支援事業所の運営
  - (1) 介護（予防）給付支援サービス
    - 1) 利用実績の管理
 

ケアプランの作成、介護サービス提供事業所等との連絡調整及びサービス等の利用状況の検証を行い半年ごとに計画見直しを行った。

月別ケアプラン作成件数

月	介護度 要支援	要介護 1・2	要介護 3・4・5	合計	新規	終了
4月	32	56	31	119	5	0
5月	30	58	31	119	1	1
6月	34	56	32	122	2	1
7月	31	60	32	123	5	3
8月	32	59	32	123	4	0
9月	32	60	37	129	8	3
10月	31	62	35	128	5	4
11月	30	62	34	126	4	2
12月	28	58	35	121	2	0
1月	26	58	35	119	1	0
2月	25	54	34	113	2	1
3月	29	54	30	113	6	1
合計	360	697	398	1455	45	16

- 2) 利用者に関する支援内容を適切に記録した。

3) 認定調査委託件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3	1	3	4	3	6	3	3	4	2	4	4
										合計	40

認定調査員 3名

(2) 運営上の透明性の確保と継続性

- 1) 2020年度介護サービス情報報告システム登録し情報発信を行った。
- 2) 在宅介護支援センターや関係機関と連携し新規利用者の獲得に繋げた。

②サービスマネジメントシステムの確立

(1) 利用者・家族の在宅生活の支援

- 1) 利用者が自立した生活を営むことが出来るよう十分な聞き取りを行い利用者のニーズを把握し支援を行った。
- 2) 入院・入所時は情報提供し、退院・退所時は情報を得るよう医療機関・福祉施設等との連携を行うことで利用者の支援を行った。
- 3) 週1回居宅会議を行い利用者の情報を共有し、担当ケアマネが不在時でも対応を行った。

③介護支援専門員としての人材育成

- 1) 介護支援専門員としての資質向上、専門知識、技術向上を図ることでマネジメントの質の向上を図るために、色々な外部研修に参加している。

月	形態	実施内容
5/22	勉強会	コミュニケーションスキル
7/29	外部研修	事例検討会（オンライン研修） 新型コロナウイルスとその対策について 新型ウイルス対策困りごと相談
9/11	外部研修	令和2年度 ケアマネジメント事例学習会
9/14	法人研修	緊急時の対応及び防災対策 感染症、食中毒の予防及び蔓延の防止
9/18	外部研修	地域ケア個別会議
9/30	外部研修	包括的支援事業研修会 「多職種連携を活かした新型コロナ対策」
10/15	外部研修	地域ケア個別会議
11/18	勉強会	ケアマネジメントスキルアップ講座 医療との連携のため必要なこと
11/20	法人研修	事例検討会 障害者が介護保険を利用するとき
11/30	外部研修	八戸地区認知症疾患 WEB セミナー
12/18	外部研修	地域ケア個別会議
1/8	外部研修	介護保険サービス従事者向けの感染対策に関する研修
1/22	法人研修	障害者虐待防止法の概要
1/27	外部研修	介護支援専門員協会八戸市部研修会 新しい連携オンライン会議のための勉強会

公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業  
 (1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

2/5	勉強会	研修動画 実習におけるスーパービジョン
2/22	法人研修	生活習慣病を防ぐ食生活のポイント
3/5	法人講演会	コロナ過におけるストレスコーピング
3/25	外部研修	令和3年度介護報酬改定と 多職種協働の自立支援型ケアマネジメント

## ◆認知症事例検討会

報告担当者 堀 慕子

### 【報告概要】

認知症者になってもその人らしく生活していくために、どのような支援が必要か、またどのような体制が必要か、福祉専門職事例をもとに検証し、認知症者の処遇の向上を目指すことを計画。

### 【報告項目】

①地域で認知症に携わっている専門職員等と、事例検討会開催を計画。

### 【報告内容】

① 地域で認知症に携わっている専門職員等と事例検討会開催。

昨年は新型コロナウイルス感染防止にてやむなく中止となったが、今年度は、昨年度計画していた事例検討会内容をオンラインにて開催することができた。オンラインでの開催は初めての試みだったが、オンライン環境を整えられたことや操作に詳しい委員がいたことで、トラブルなく開催が出来た。

実施月日	計画内容	参加施設	参加者数
11月20日 18:00 ～19:30	『障害者支援から高齢者支援への移行』 ～障害者施設から高齢者施設への 移行について～  地域生活支援センター青明舎 管理者・生活相談支援員 森 富茂子氏 (オンライン開催：結び家2階より配信)	居宅介護 支援事業 所、高齢 者支援セ ンター、 高齢福祉 課	29名

## ◆ 青森県若年性認知症総合支援センター

報告担当者 勝見綾乃

### 【報告概要】

若年性認知症に対する認識が不足し、診断される前に症状が進行し社会生活が事実上困難となるケースや、本人やその家族、企業及び医療機関が若年性認知症を知っていても、活用が可能な福祉や雇用の施策があまり知られていないことなどから、経済的な面も含めて本人とその家族の生活が困難になりやすいことが指摘されている。これらの問題を解消し、若年性認知症の一人ひとりが、その状態に応じた適切な支援を受けられるようにすることを目的として運営した。

### 【報告項目】

- ① 若年性認知症総合支援センター事業の運営

### 【報告内容】

- ① 若年性認知症総合支援センター事業

1) 相談支援事業

若年性認知症の多岐にわたる相談のワンストップ窓口の開設し、訪問、来所相談、電話相、相談会等にて以下の相談に応じる。

- ・福祉サービスの利用援助に関する事
- ・社会資源を活用するための支援に関する事
- ・社会生活力を高めるための支援に関する事
- ・権利擁護のために必要な援助に関する事

※必要に応じて同行や関係機関との連絡調整を実施。

	通常相談	継続相談	その他	単純問合せ	計
4月					0名
5月	2名		2名		4名
6月	1名		2名		3名
7月	9名				9名
8月	2名		1名		3名
9月	7名				7名
10月	3名				3名
11月	4名	2名	1名		7名
12月	5名				5名
1月	9名				9名
2月	3名		1名		4名
3月	9名		3名		12名
合計	54名	2名	10名	名	66名

(備考) 通常相談：64歳以下の相談

継続相談：初回相談 64歳以下で現 65歳以上の相談

その他：18歳未満 65歳以上の相談

出張相談会

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ中止。



2) 若年性認知症自立支援ネットワーク会議の実施

発症初期から高齢期まで本人の状態にあわせた適切な支援が図られるよう、医療・介護・福祉・雇用の関係者が連携する若年性認知症自立支援ネットワークを構築するための会議を開催した。

報告では、令和元年度の実績報告と令和2年度の計画について報告している。また、若年性認知症の概要について、若年性認知症支援の概要について、治療と仕事の両立支援について、障害者雇用について各委員より情報提供を行っている。協議では、ネットワーク研修の案内配布について、令和3年度の活動について協議を行った。

協議の結果、若年性認知症総合支援センターが中心となって各団体と情報共有し繋がりを作り、本人・家族が安心して生活していけるような支援体制を整えていきたいこと、若年性認知症の周知だけにこだわらず、ニーズに応えられるよう、情報共有を行うことの必要性を確認し協議を終了している。

実施月日	実施内容	構成団体（12団体）
8月26日	令和2年度青森県若年性認知症自立支援ネットワーク会議実施 ・報告 令和元年度実績報告 令和2年度実施計画 ・情報提供 若年性認知症の概要について 若年性認知症支援概要について 治療と仕事の両立支援について 障害者雇用について ・協議内容 ネットワーク研修の案内送付について 令和3年度の活動について	≪学識経験者≫ 青森県立保健大学 准教授 ≪医療≫ 青森県医師会 認知症疾患医療センター ≪介護福祉≫ 青森県介護支援専門員協会 青森県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 ≪当事者関係者≫ 認知症の人と家族の会青森県支部 ≪労働施策≫ 青森労働局職業安定部職業対策課 青森障害者職業センター 青森産業保健総合支援センター ≪経済団体≫ 青森県商工会議所連合会 青森県商工会連合会 ≪市町村≫ 青森市高齢者支援課

3) 若年性認知症自立支援ネットワーク研修

若年性認知症の人に対する日常生活上の支援、就労上の支援等のために必要な知識・技術を習得するための研修を実施した。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、県担当者・コーディネーター・県内講師のみ会場に集合。参加者はWeb（Zoom）にて参加している。支援コーディネーターより青森県若年性認知症総合支援センターの説明を行い、講演として、青森産業保健総合支援センターの原田氏より「治療と仕事の両立支援について」、地方職業安定監察官の中川氏より「障害者雇用について」、当事者の丹野智文氏より「認知症と仕事」について講演を行った。また、チャット機能の活用と丹野智文氏と支援コーディネーターの対談形式にして質疑応答を行っている。

今年度、青森障害者職業センターと青森商工会議所より周知活動の協力があり、商工会議所広報やホームページにて研修案内を掲載していただいている。

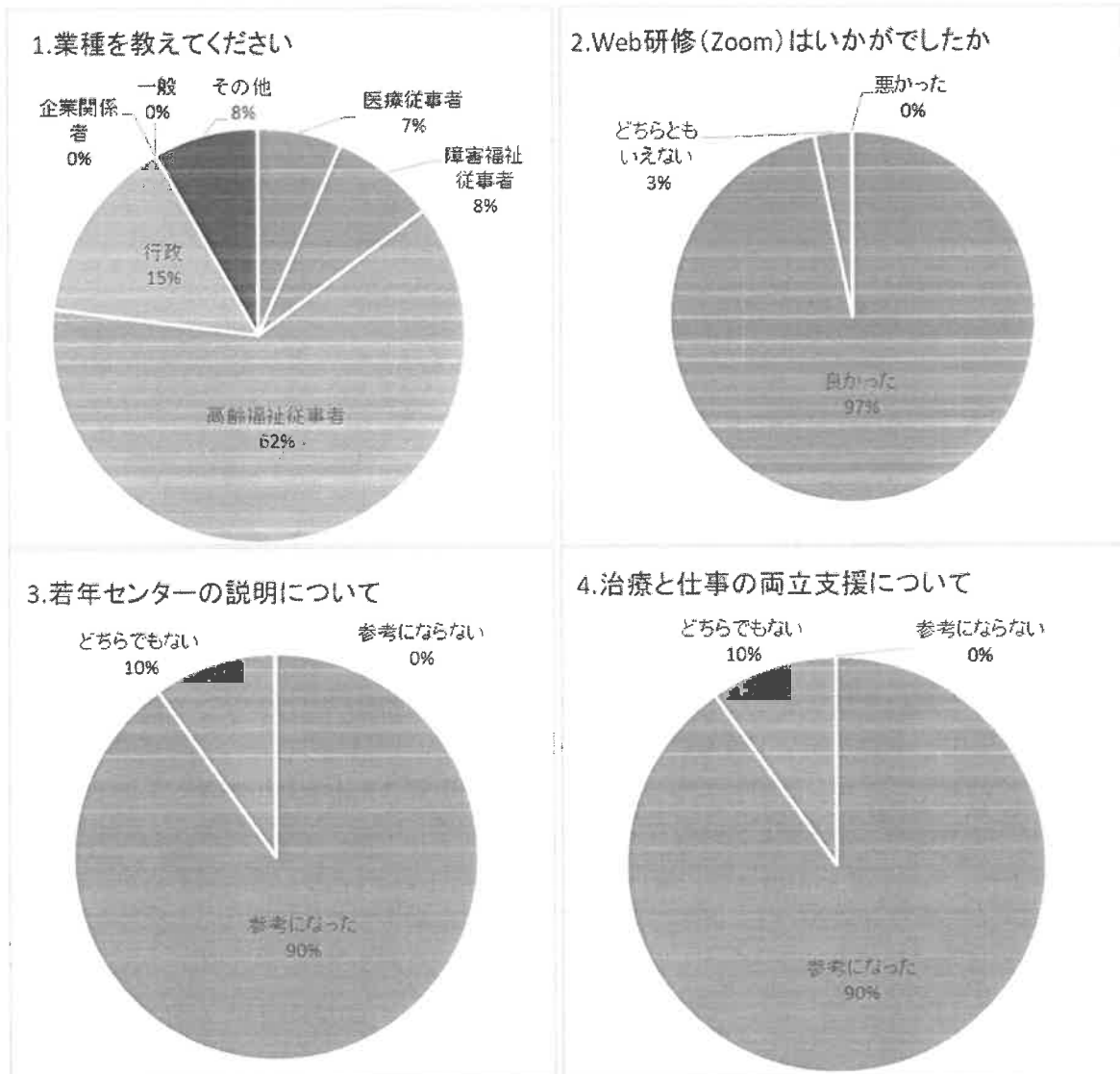
実施月日	実施内容
11月27日	令和2年度青森県若年性認知症自立支援ネットワーク研修実施 青森県若年性認知症総合支援センター 説明 支援コーディネーター 勝見綾乃 講演「治療と仕事の両立支援について」 青森産業保健総合支援センター 原田亜梨沙氏 講演「障害者雇用について」地方職業安定監察官 中川勝則氏 講演「認知症と仕事」 当事者：丹野智文氏 丹野さんに聞いてみよう～皆さんの質問にお応えします～ 丹野智文氏／松倉典子（支援コーディネーター）

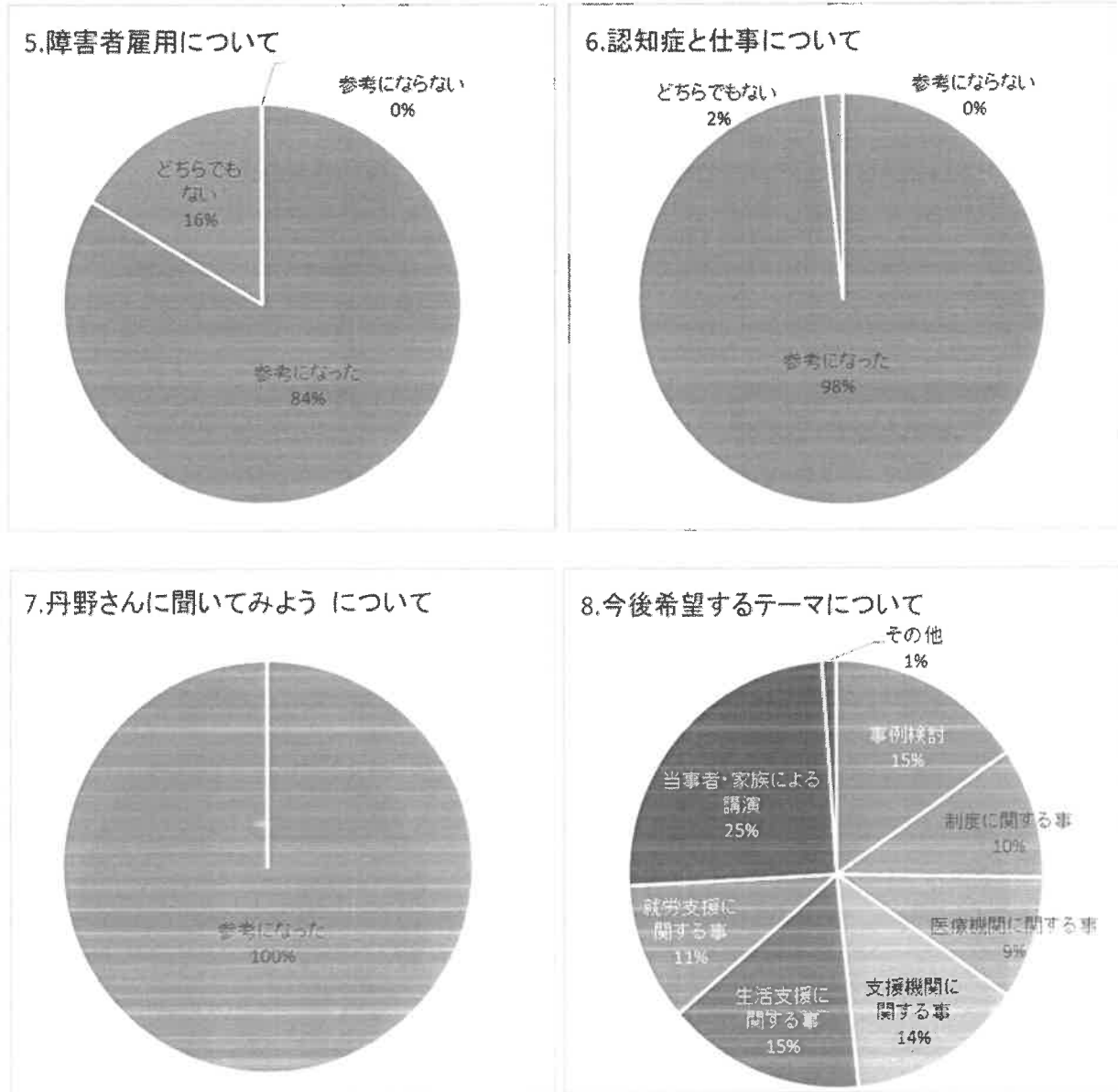
若年性認知症自立支援ネットワーク研修 アンケート結果

《参加者数》 94名

《アンケート回答数》 61名（回収率64.9%）※同事業所は代表者1名のみ回答

《参加職種》 障害事業所 8.2% 高齢事業所 62.3% 医療 6.6%  
 行政 14.8% その他 8.2%





○自由記載（チャット受付）

- ・感想です。丹野さんの話を聞いてウジウジしている自分が情けなくなりました。もっと楽しくポジティブに人生を謳歌していこうと感じました。
- ・自分もうっかり忘れてたりすることが多いけれど、認知症と診断されている方が忘れていたことがあると過剰に反応し、病氣と結びつけて考えすぎていたんだな、と分かつことが出来ました。
- ・ズームでの研修でしたが、とても良かったです！憧れの丹野さんともオンライン上でお会い出来て光栄でした。また機会がありましたらズームでの研修（リアルでも）参加したいと思います。
- ・「認知症でも、失敗したら落ち込む。落ち込んじゃいけないのか」が、ささりました。認知症介護に携わり、どこか「失敗する前の杖」ばかりを考えていた気がします。これからは、失敗しても、次、どうする？を頭に置きながら、もっとのびのび生きてもらえるように考えていきたいと思います。

### ◆メンタルヘルスに関する事業

報告担当者 松倉 典子

**【報告概要】**

メンタルヘルスに関する事業を通して疾病発症を未然に防ぐことで、精神疾患発症の予防・早期発見・再発防止・社会復帰等の支援をする事で、心の健康を保ち、健全な地域づくりを行う事を目的として事業を行った。

**【報告項目】**

- ①ストレスチェックの実施
- ②メンタルヘルスに関する研修会の開催及び講師の派遣
- ③その他のメンタルヘルスに関する事業

**【報告内容】**

- ①ストレスチェックの実施  
 労働安全法に基づき、ストレスチェックの実施対象となる者並びに企業及び法人等からの依頼により、ストレスチェックを実施した。

実施日	委託者	実施内容
2020年7月	医療法人青仁会	・実施及び集団分析 受検者：140名
2021年3月	社会福祉法人昭壽会	・ストレスチェック実施事前研修 2/18 13:30~14:30 ・実施及び集団分析 受験者：57名 面接指導実施：0名
2021年3月	社会福祉法人長老会	・実施及び集団分析 受験者：98名

## ◆障害者の作品展示

報告担当者 代表理事 松倉典子

### 【報告概要】

障害者の創作した美術作品を公開する場を設けた。また、その美術作品を通して、地域住民やその他の方に対し、展示作品の説明、紹介を行い、障害への理解・認識を促進するための事業を行う予定であったが、コロナ禍において、見学者等は全くなかった。

### 【報告項目】

- ① 障害者の作品展示
- ② 作品見学会の実施
- ③ 広報（新規）

### 【報告内容】

- ① 障害者の作品展示
  - 1) すこやか会館で作品を展示しているが、来場者は全くなかった。
- ② 作品見学会の実施
  - 1) 法人で行う各研修会を利用し、来場者に対して作品介绍・説明等を行なう予定をしていたが、コロナ禍の影響を受け、研修、事例検討会についてもWEB開催となったため、研修に伴う来場者はなかった。
  - 2) 事前予約を受け、見学会を毎年実施していたが、令和2年度については予約はなかった。
- ③ 広報（新規）

予定していた広報活動は全く行われず、ホームページ上での案内のみとなった。

## ◆障害者・高齢者・認知症者の福祉に関する 研修会、講演会、イベントの開催

報告担当者 代表理事 松倉典子

### 【報告概要】

障害者や高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、地域住民等の理解や協力を促進するために、イベントや講演会等を実施した。

### 【報告項目】

- ① 障害者、高齢者、認知症者の地域生活支援に関する研修会を開催し、地域住民、公的機関等との連携、協働による地域福祉のネットワークづくりを推進する。
- ② 高齢者・障害者を支える家族、専門職員、一般の方を対象とした講習会等の実施
- ③ 障害者、高齢者、認知症者への偏見を除去し、地域住民との交流を図るためのイベント等を開催

### 【報告内容】

#### ①～③共通

障害者、高齢者、認知症者の地域生活支援に関する研修会及び障害者、高齢者を支える家族、専門職員、一般の方を対象とした講演会の実施並びに障害者、高齢者、認知症者への偏見除去・地域交流を図るためのイベント等を開催した。

#### 1) 障害者、高齢者、認知症者を支援するための講座の実施

- ・認知症サポーター養成講座の実施。(キャラバンメイト3名登録)

独自開催は田面木小学校で実施。例年であれば八戸市から依頼があるが、今年度はなかった。

実施日	講演内容	対象者
10月22日	認知症サポーター養成講座	田面木小学校4年生と教師 36名

- ・障害や疾病に対する理解促進、障害者の継続した地域生活の為の連携等を目的とした各研修会の実施

実施日	講演内容	対象者
2月1日	障害者サポーター養成講座 ZOOMによるオンライン形式で実施	八戸学院大学 短期大学部介護福祉課 21名 健康医療学部看護学科 3名

2) 講演会の開催

実施月日	実施内容	参加者
3月5日	◆講演会 ●「コロナ禍におけるストレスコーピング」 講師 八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科 准教授 小川 あゆみ 様 ・ZOOM によるオンライン講演会の形式で実施	46 台の PC から入室あり。

3) イベントの開催

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年実施しているすこやか祭り、もちつき大会は中止となった。

4) 八戸市主催「認知症フォーラム」への参加

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年実施しているはちのへ認知症フォーラムは中止となった。

## ◆介護予防

報告担当者 代表理事 松倉典子

### 【報告概要】

地域の方一人ひとりが健康維持について高い意識をもち、仲間づくりをすることで、高齢者の閉じこもりを予防し、要介護状態になることを予防することを目的としていたが、令和2年度において、介護予防教室の依頼はなかった。しかし、南部町から依頼を受け認知症セミナーを実施（障害者・高齢者・認知症者の福祉に関する研修会、講演会、イベントの開催で報告）予防の重要性について講義内容に組み込んだ。

### 【報告項目】

- ①地域住民を対象に介護予防に繋がるプログラムを実施

### 【報告内容】

- ①地域住民を対象に介護予防に繋がるプログラムを実施
  - 1) 地域住民を対象とした介護予防教室の実施はなかったが、依頼のあった講義では、都度、予防の重要性について講義内容に組み込んだ。



## ◆成年後見制度の利用に関する支援

報告担当者 代表理事 松倉典子

### 【報告概要】

個人の尊厳を重視する権利擁護活動において、権利擁護の推進を図ることを目的とし、スタッフの後見人活動を支援した。

### 【報告項目】

- ① 法人スタッフの権利擁護活動を支援
- ② 成年後見制度利用相談支援

### 【報告内容】

- ① 法人スタッフの権利擁護活動を支援

「ぱーとなー青森」に所属する法人スタッフ1名の後見活動を支援した。

対象者	実施内容	登記	担当
知的障害者 女性 60歳代	後見事務	H24.12.14	松倉

- ② 成年後見制度利用相談支援

成年後見制度利用に関する相談を各相談支援機関事業所で受け付け、法人全体で1件の相談があった。

## ◆もの忘れ検診機器の貸出

報告担当者 松倉 典子

### 【報告概要】

認知症の早期発見早期受診を目的として、もの忘れ検診機器の貸し出しを行うことで、もの忘れ検診をより普及した。

### 【報告項目】

- ① タッチパネル式もの忘れ検診機器の貸出
- ② もの忘れ検診機器の点検

### 【報告内容】

- ① タッチパネル式の物忘れ検診機器を市町村等へ貸出  
 延貸出台数：4台（前年度18台）

月	実施内容			
1月	三八五交通 株式会社	認知症予防事業	1日間	2台
3月	三八五交通 株式会社	認知症予防事業	1日間	2台

- ② タッチパネル検診機器の点検

月	実施内容
随時	タッチパネル機器とプリンターの点検

### ◆認知症徘徊 SOS 模擬訓練

報告担当者 小笠原 裕美子

**【報告概要】**

田面木地区社会福祉協議会と協力し、例年認知症徘徊模擬訓練を実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大状況や地域の現状等を考慮し、今年度の訓練実施は見送る事とした。しかし、平成 20 年より田面木地区に根差した活動として実施してきており、この活動が途切れる事のないよう地域の各団体、近隣福祉施設、行政とのつながりを継続していけるよう調整を行った。

**【報告項目】**

- ①田面木地区で認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施（中止）
- ②田面木地区以外の地区におけるネットワークの事業紹介と啓発活動並びに立ち上げ協力、組織化への支援を実施

**【報告内容】**

- ①田面木地区で認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施（中止）  
 新型コロナウイルス感染状況や地域の実情等を考慮し、主催者と検討した結果中止となる。  
 1) 中止についての案内を関係各所に配布  
 模擬訓練の主催者である田面木地区社会福祉協議会と開催について検討した結果、訓練は中止とするが、その旨のお知らせを関係各所へ配布すると共に、来年度以降も協力の継続を依頼した。

実施日	実施内容	備考
R 2.6.	田面木地区社会福祉協議会会長と今年度の開催について相談	-
R 2.7.22	田面木地区社会福祉協議会会長より、中止の連絡	-
R 2.7 月下旬	中止のお知らせ文書作成、配布先の確認	-
R 2.8.4	担当者打合せ	-
R 2.8 月上旬	文書印刷、配布準備	-
R 2.8.5～	中止お知らせ配布	27 か所

2) 認知症サポーター養成講座の実施

実施日	実施内容
R2.10.22	田面木小学校 4 年生対象に認知症サポーター養成講座実施 参加者 36 名

- ②田面木地区以外の地区におけるネットワークの事業紹介と啓発活動ならびに立ち上げ協力、組織化への支援予定としていたが、依頼がなかったため実施しなかった。

## ◆自動販売機等の設置及び不動産貸付事業 及びレストランサービス事業

報告担当者 代表理事 松倉典子

**【報告概要】**

収益事業で収入を得ることにより、その収益の50パーセントを公益事業へのみなしに寄付することで、公益目的事業の運営資金とするために事業を行った。

**【報告項目】**

- ① 自動販売機収入
- ② 公衆電話収入
- ③ 不動産貸付事業収入
- ④ レストランサービス事業収入

**【報告内容】**

① 自動販売機収入

設置場所	実施内容
八戸市大字田面木字赤坂 14-4 地域生活支援センター青明舎前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売機周辺の清掃</li> <li>・入金確認</li> </ul>

② 公衆電話収入

設置場所	実施内容
八戸市大字田面木字松長根 5-4 グループホーム「あおぞら」内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集金</li> <li>・入金</li> <li>・電話機のメンテナンス</li> </ul>
八戸市大字田面木字赤坂 35-9 グループホーム「青風荘」内	
八戸市大字田面木字赤坂 35-35 障害者生活訓練施設「青山荘」内	

③ 不動産貸付事業収入

(1) 屋外広告用看板スペース貸出し収入

貸出場所	実施内容
八戸市大字田面木字赤坂 14-4 地域生活支援センター青明舎 建物壁面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・借主（医療法人青仁会）との打合せ</li> <li>・入金確認</li> </ul>

(2) 土地の賃貸借による収入

設置場所	実施内容
八戸市大字田面木字赤坂 22-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約内容の確認打合せ</li> <li>・入金確認</li> <li>・支払確認</li> </ul>
八戸市大字田面木字赤坂 22-2	
八戸市大字田面木字赤坂 24-1	
八戸市大字田面木字赤坂 24-2	
八戸市大字田面木字赤坂 24-4	
八戸市大字田面木字赤坂 24-5	

④ レストランサービス事業収入

提供事業所	実施内容
グループホーム 青風荘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食数確認（毎週金曜日）</li> <li>・請求書発行（毎月5日）</li> <li>・入金確認（毎月10日）</li> <li>・食材の買出し（毎週月・金曜日）</li> </ul>
障害者生活訓練施設 青山壮	
グループホーム 南寿の里	